

Chapter 01 標準原価計算の基礎

Section 02 標準原価計算の計算手続

問題 01 標準原価計算の計算手続

解答・解説 P.1-03

問1.

製品S 1個あたり標準原価 円/個

問2.

仕掛品		(単位：円)	
月初有高	()	製品	()
材料	()	月末有高	()
賃金	()	原価差異	()
製造間接費	()		
	<u>()</u>		<u>()</u>

製品		(単位：円)	
月初有高	()	売上原価	()
仕掛品	()	月末有高	()
	<u>()</u>		<u>()</u>

03

標準原価計算の勘定記入

問題

02

勘定記入の方法

解答・解説 P.1-04

(1) シングルプランを採用している場合

仕掛品		(単位：円)	
前月繰越 ()	製品 ()		
直接材料費 ()	次月繰越 ()		
直接労務費 ()			
製造間接費 ()			
()			

(2) パーシャルプランを採用している場合

仕掛品		(単位：円)	
前月繰越 ()	製品 ()		
直接材料費 ()	価格差異 ()		
直接労務費 ()	数量差異 ()		
製造間接費 ()	作業時間差異 ()		
賃率差異 ()	操業度差異 ()		
予算差異 ()	能率差異 ()		
()	次月繰越 ()		
	()		

(3) 修正パーシャルプランを採用している場合

仕掛品		(単位：円)	
前月繰越 ()	製品 ()		
直接材料費 ()	数量差異 ()		
直接労務費 ()	作業時間差異 ()		
製造間接費 ()	操業度差異 ()		
予算差異 ()	能率差異 ()		
()	次月繰越 ()		
	()		

材料受入価格差異と勘定記入

問1.

材 料		(単位：円)
買 掛 金 ()	仕掛品-直接材料費 ()	
	月 末 有 高 ()	

材料受入価格差異		(単位：円)
買 掛 金 ()		

仕掛品-直接材料費		(単位：円)
月 初 有 高 ()	完 成 品 ()	
材 料 ()	標 準 原 価 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

問2.

材 料		(単位：円)
買 掛 金 ()	仕掛品-直接材料費 ()	
	標 準 原 価 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

仕掛品-直接材料費		(単位：円)
月 初 有 高 ()	完 成 品 ()	
材 料 ()	標 準 原 価 差 異 ()	
	月 末 有 高 ()	

04

標準原価差異の分析

問題

04

直接材料費差異と直接労務費差異

解答・解説 P.1-09

- (1) 月末仕掛品原価 円
- (2) 完成品原価 円
- (3) 直接材料費差異 円 ()
- (内訳) 価格差異 円 ()
- 数量差異 円 ()
- (4) 直接労務費差異 円 ()
- (内訳) 賃率差異 円 ()
- 作業時間差異 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

05

製造間接費差異(公式法変動予算1)

解答・解説 P.1-10

四分法	三分法(1)	三分法(2)	二分法
予算差異 円()	予算差異 円()	予算差異 円()	管理可能差異 円()
変動費能率差異 円()	能率差異 円()	能率差異 円()	管理不能差異 円()
固定費能率差異 円()	操業度差異 円()	操業度差異 円()	_____
操業度差異 円()	_____	_____	_____

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

06

製造間接費差異(公式法変動予算2)

解答・解説 P.1-12

問1.

予算差異 円 ()
 能率差異 円 ()
 操業度差異 円 ()

問2.

予算差異 円 ()
 能率差異 円 ()
 操業度差異 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

07

製造間接費差異(固定予算)

解答・解説 P.1-14

製造間接費差異 円 ()

(内 訳)

予算差異 円 ()
 能率差異 円 ()
 操業度差異 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

08

製造間接費差異(実査法変動予算)

解答・解説 P.1-15

製造間接費差異 円 ()

(内 訳)

予算差異 円 ()
 能率差異 円 ()
 操業度差異 円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

09

理論問題 ～標準原価計算の目的～

解答・解説 P.1-16

(イ)		(ロ)		(ハ)	
(ニ)		(ホ)			

Chapter 02 標準原価計算と仕損・減損(1)

Section 01 仕損・減損のある標準原価計算

問題 01 仕損を考慮しない場合

解答・解説 P.2-01

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
		円	kg
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
		円	時間
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
		円	時間
合計			円

問2.

仕掛品		(単位：円)
月初仕掛品 ()	完成品原価 ()	
直接材料費 ()	月末仕掛品 ()	
直接労務費 ()	標準原価差異 ()	
製造間接費 ()		
()		()

問3.

直接材料費差異	円 ()
価格差異	円 ()
数量差異	円 ()
直接労務費差異	円 ()
賃率差異	円 ()
作業時間差異	円 ()
製造間接費差異	円 ()
予算差異	円 ()
能率差異	円 ()
操業度差異	円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

02

標準原価計算における仕損の処理～第1法による計算～

解答・解説 P.2-04

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
		円	kg
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
		円	時間
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
		円	時間
製品1個あたり標準製造原価			円

問2.

仕掛品		(単位：円)	
月初仕掛品	()	完成品原価	()
直接材料費	()	月末仕掛品	()
直接労務費	()	標準原価差異	()
製造間接費	()		
	()		()

問3.

直接材料費差異	円 ()
価格差異	円 ()
数量差異	円 ()
直接労務費差異	円 ()
賃率差異	円 ()
作業時間差異	円 ()
製造間接費差異	円 ()
予算差異	円 ()
能率差異	円 ()
操業度差異	円 ()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
	円	kg	円
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
	円	時間	円
製造間接費	標準配賦率	標準機械時間	金額
	円	時間	円
製品1個あたり正味標準製造原価			円
正常仕損費			円
製品1個あたり総標準製造原価			円

問2.

仕掛品		(単位：円)	
月初仕掛品	()	完成品原価	()
直接材料費	()	異常仕損費	()
直接労務費	()	月末仕掛品	()
製造間接費	()	標準原価差異	()
	<u>()</u>		<u>()</u>

問3.

直接材料費差異	_____円()
価格差異	_____円()
数量差異	_____円()
直接労務費差異	_____円()
賃率差異	_____円()
作業時間差異	_____円()
製造間接費差異	_____円()
予算差異	_____円()
能率差異	_____円()
操業度差異	_____円()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

問題

04

理論問題 ～第1法と第2法の比較～

解答・解説 P.2-10

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問題

05

仕損品評価額のある場合

解答・解説 P.2-11

問1.

標準原価カード

直接材料費	標準価格	標準消費量	金額
		円	kg
直接労務費	標準賃率	標準直接作業時間	金額
		円	時間
製造間接費	標準配賦率	標準機械作業時間	金額
		円	時間
製品1個あたり正味標準製造原価			円
正常仕損費			円
製品1個あたり総標準製造原価			円

問2.

仕掛品

(単位：円)

月初仕掛品	()	完成品原価	()
直接材料費	()	異常仕損費	()
直接労務費	()	仕損品	()
製造間接費	()	月末仕掛品	()
標準原価差異	()		
	()		()

問3.

直接材料費差異	_____	円()
価格差異	_____	円()
数量差異	_____	円()
直接労務費差異	_____	円()
賃率差異	_____	円()
作業時間差異	_____	円()
製造間接費差異	_____	円()
予算差異	_____	円()
能率差異	_____	円()
操業度差異	_____	円()

【注意】()内には有利・不利いずれかを記入すること。

Chapter 03 CVP分析

Section

03 基本的なCVP分析

問題

01

損益分岐点・目標利益達成点

解答・解説 P.3-01

問1.

			損益計算書	(単位:円)
売	上	高	()	
変	動	費	()	
貢	献	利	()	
固	定	費	()	
営	業	利	()	
		益	()	

問2.

損益分岐点販売量 個
 損益分岐点売上高 円

問3.

目標営業利益達成点売上高 円

問4.

目標売上高営業利益率達成点販売量 個

Section

04 さまざまなCVP分析

問題

02

価格等の変更による影響

解答・解説 P.3-03

問1.

損益分岐点販売量 個

問2.

営業利益は 円()する。

【注意】()内には増加・減少いずれかを記入すること。

問題

03

複数製品によるCVP分析

解答・解説 P.3-04

製品Q 個製品R 個

Section

05

利益の分析

問題

04

複数製品によるCVP分析

解答・解説 P.3-05

① 損益分岐点販売量

製品X 個製品Y 個製品Z 個② 安全率 %

問題

05

価格等の変更が損益分岐点に及ぼす影響

解答・解説 P.3-06

	第1案	第2案	第3案
(1)	500,000 千円	千円	千円
(2)	43,200 千円	千円	千円
(3)	個	個	個
(4)	%	%	%

問題

06

経営レバレッジ係数と安全余裕率

解答・解説 P.3-09

問1.

経営レバレッジ係数

問2.

安全余裕率 %

問3.

営業利益増加率 %

問題

07

全部原価計算によるCVP分析

解答・解説 P.3-10

損益分岐点販売量 個安全率 %

問題

08

損益分岐点、安全余裕率

解答・解説 P.3-11

問1.

損益分岐点売上高 万円 安全余裕率 %

問2.

 ポイント

問3.

① 営業部のみ ・ 製造部のみ ・ 営業部と製造部 ② 万円

(注)①はいずれか適切な語句を○で囲むこと

問題

09

価格等の変化が与える影響

解答・解説 P.3-13

問1.

 万円

問2.

 %

問題

10

理論問題～経営レバレッジ係数～

解答・解説 P.3-14

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>

問題

11

高低点法

製造間接費発生額

 円

解答・解説 P.3-14

問題

12

最小自乗法

変動費率

 万円/時間

月間固定費

 万円

解答・解説 P.3-16

Chapter 04 直接原価計算

Section

01 直接原価計算

問題

01

直接原価計算と全部原価計算

解答・解説 P.4-01

問1.

	<u>損益計算書</u>	(単位：円)
I 売上高	()	
II 売上原価	()	
売上総利益	()	
III 販売費及び一般管理費	()	
営業利益	()	

問2.

	<u>損益計算書</u>	(単位：円)
I 売上高	()	
II 変動売上原価	()	
()	()	
III 変動販売費	()	
()	()	
IV 固定費		
1. 固定製造費	()	
2. 固定販売費	()	
3. 固定一般管理費	()	
営業利益	()	

固定費調整(ころがし計算法と一括調整法)

問1.

	<u>固定費調整</u>	(単位:円)
直接原価計算の営業利益		()
期末仕掛品固定費	()	
期末製品固定費	()	()
期首仕掛品固定費	()	
期首製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		<u>()</u>

問2.

	<u>固定費調整</u>	(単位:円)
直接原価計算の営業利益		()
期末仕掛品固定費	()	
期末製品固定費	()	()
期首仕掛品固定費	()	
期首製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		<u>()</u>

固定費調整(加工費を予定配賦している場合)

	<u>直接原価計算の損益計算書</u>	(単位:円)
売上高		3,150,000
変動売上原価	()	
原価差額	()	()
変動製造マージン		()
変動販売費		126,000
貢献利益		()
固定費		
製造固定費	()	
固定販売費及び一般管理費	()	()
直接原価計算の営業利益		()
固定費調整		
月末仕掛品固定費	()	
月末製品固定費	()	()
月初仕掛品固定費	()	
月初製品固定費	()	()
全部原価計算の営業利益		<u>()</u>

02 直接標準原価計算

問題

04

直接標準原価計算における標準原価差異分析

解答・解説 P.4-08

損益計算書

(単位：円)

I	売上高		()		
II	標準変動売上原価		()		
	変動製造マージン		()		
III	標準変動販売費		()		
	標準貢献利益		()		
IV	原価差異						
1	価格差異	()	()
2	数量差異	()	()
3	賃率差異	()	()
4	作業時間差異	()	()
5	予算差異	()	()
6	能率差異	()	()
7	販売費差異	()	()
	実際貢献利益		()		
V	固定費						
1	固定製造原価	()			
2	固定販売費	()	()
	営業利益		()		

【注意】()内には有利差異の場合には+ (プラス) を、不利差異の場合には- (マイナス) を記入すること。

直接標準原価計算と固定費調整

損益計算書(全部原価計算)

(単位：円)

15,000,000

売上高			
売上原価			
期首製品棚卸高	()		
当期製品製造原価	()		
合計	()		
期末製品棚卸高	()		
	()		
原価差異			
予算差異	()	()	
操業度差異	()	()	
差異合計	()	()	()
売上総利益		()	()
販売費及び一般管理費		()	()
営業利益		()	()

損益計算書(直接原価計算)

(単位：円)

15,000,000

売上高			
変動売上原価			
期首製品棚卸高	()		
当期製品製造原価	()		
合計	()		
期末製品棚卸高	()		
変動原価差異			
予算差異	()	()	
差異合計	()	()	()
変動製造マージン			()
変動販売費			400,000
貢献利益			()
固定費			
加工費	()		
販売費及び一般管理費	()		()
直接原価計算の営業利益			()
固定費調整			
期末仕掛品固定費	()		
期末製品固定費	()		()
期首仕掛品固定費	()		
期首製品固定費	()		()
全部原価計算の営業利益			()

問題

06

理論問題 ～ 直接原価計算と全部原価計算の関係 ～

解答・解説 P.4-12

①		②		③	
④		⑤			

Chapter 05 最適セールス・ミックスの決定

Section 01 最適セールス・ミックスの決定

問題 01 最適セールス・ミックス1

解答・解説 P.5-●

問1.

生産販売量 Z_1 個 Z_2 個 Z_3 個
営業利益 円

問2.

生産販売量 X 個 Y 個
営業利益 円

問題 02 最適セールス・ミックス2

解答・解説 P.5-●

問1.

最適セールスミックス

製品A 個
製品B 個
年間営業利益 円

問2.

製品B 1個あたりの貢献利益が 円より少なければ、最適セールス・ミックスは変化する。

問題

03

最適セールス・ミックス3

解答・解説 P.5-●

問1.

変動加工費率 円/時間 固定加工費 万円

問2.

製 品	計画損益計算書				(単位：万円)
	A	B	C	D	合計
売 上 高	()	()	()	()	()
変 動 費	()	()	()	()	()
貢 献 利 益	()	()	()	()	()
固 定 費					()
営 業 利 益					()

問3.

製品A 個 製品B 個
 製品C 個 製品D 個
 営業利益増加額 万円

問題

04

最適セールス・ミックス4

解答・解説 P.5-●

問1.

製品α 円 製品β 円

問2.

個

問3.

個

問4.

製品α 個 製品β 個 営業利益 円

問5.

円

Chapter 06 予算実績差異分析

Section 01 予算実績差異分析

問題 01 全部実際原価計算による予算実績差異分析

解答・解説 P.6-01

【総額分析(項目別分析)】

営業利益差異分析表		(単位：円)
1. 予算営業利益		17,400,000
2. 売上高差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	()
3. 売上原価差異		
(1)売上原価価格差異	()	
(2)売上原価数量差異	()	()
4. 売上総利益差異		()
5. 販売費・一般管理費差異		
(1)販売費差異	()	
(2)一般管理費差異	()	()
6. 実績営業利益		<u>16,820,000</u>

【純額分析(要因別分析)】

営業利益差異分析表		(単位：円)
1. 予算営業利益		17,400,000
2. 売上総利益差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	
(3)売上原価価格差異	()	()
3. 販売費・一般管理費差異		
(1)販売費差異	()	
(2)一般管理費差異	()	()
4. 実績営業利益		<u>16,820,000</u>

全部標準原価計算による予算実績差異分析

	予算実績比較損益計算書		(単位：円)
	予算	実績	差異
売上高	()	()	()
標準売上原価	()	()	()
標準売上総利益	()	()	()
標準原価差異	—	()	()
実際売上総利益	()	()	()
販売費・一般管理費			
販売費	()	()	()
一般管理費	()	()	()
計	()	()	()
営業利益	()	()	()

【総額分析】

	営業利益差異分析表		(単位：円)
1. 予算営業利益			()
2. 売上高差異			
(1)販売価格差異	()		
(2)販売数量差異	()		()
3. 標準売上原価数量差異			()
4. 標準売上総利益差異			()
5. 標準原価差異			
(1)材料価格差異	()		
(2)材料消費数量差異	()		
(3)労働賃率差異	()		
(4)労働時間差異	()		
(5)変動製造間接費予算差異	()		
(6)固定製造間接費予算差異	()		
(7)製造間接費能率差異	()		
(8)操業度差異	()		()
6. 販売費・一般管理費			
(1)販売費差異	()		
(2)一般管理費差異	()		()
7. 実績営業利益			()

【純額分析】

<u>営業利益差異分析表</u>		(単位：円)
1. 予算営業利益		()
2. 標準売上総利益差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	()
3. 標準原価差異		
(1)材料価格差異	()	
(2)材料消費数量差異	()	
(3)労働賃率差異	()	
(4)労働時間差異	()	
(5)変動製造間接費予算差異	()	
(6)固定製造間接費予算差異	()	
(7)製造間接費能率差異	()	
(8)操業度差異	()	()
4. 販売費・一般管理費		
(1)販売費差異	()	
(2)一般管理費差異	()	()
5. 実績営業利益		()

直接実際原価計算による予算実績差異分析

【総額分析】

		営業利益差異分析表	(単位：円)
1.	予算営業利益		17,400,000
2.	売上高差異		
	(1)販売価格差異	()	
	(2)販売数量差異	()	()
3.	変動売上原価差異		
	(1)売上原価価格差異	()	
	(2)売上原価数量差異	()	()
4.	変動販売費差異		
	(1)変動販売費予算差異	()	
	(2)変動販売費数量差異	()	()
5.	貢献利益差異		()
6.	固定費差異		
	(1)固定製造間接費差異	()	
	(2)固定販売費差異	()	
	(3)固定一般管理費差異	()	()
6.	実績営業利益		<u>16,820,000</u>

【純額分析】

		営業利益差異分析表	(単位：円)
1.	予算営業利益		17,400,000
2.	貢献利益差異		
	(1)販売価格差異	()	
	(2)販売数量差異	()	
	(3)変動売上原価価格差異	()	
	(4)変動販売費予算差異	()	()
3.	固定費差異		
	(1)固定製造間接費差異	()	
	(2)固定販売費差異	()	
	(3)固定一般管理費差異	()	()
4.	実績営業利益		<u>16,820,000</u>

	予算実績損益比較計算書		(単位：円)
	予算	実績	差異
売上高	()	()	()
標準変動費			
製造原価	()	()	()
販売費	()	()	()
計	()	()	()
標準貢献利益	()	()	()
標準変動費差異	—	()	()
実際貢献利益	()	()	()
固定費			
製造間接費	()	()	()
販売費	()	()	()
一般管理費	()	()	()
計	()	()	()
営業利益	()	()	()

【総額分析】

		営業利益差異分析表	(単位：円)
1.	予算営業利益		()
2.	売上高差異		
	(1)販売価格差異	()	
	(2)販売数量差異	()	()
3.	標準変動売上原価数量差異		()
4.	標準変動販売費数量差異		()
5.	標準貢献利益差異		()
6.	標準変動費差異		
	(1)材料価格差異	()	
	(2)材料消費数量差異	()	
	(3)労働賃率差異	()	
	(4)労働時間差異	()	
	(5)変動製造間接費予算差異	()	
	(6)変動製造間接費能率差異	()	
	(7)変動販売費予算差異	()	()
7.	固定費差異		
	(1)固定製造間接費差異	()	
	(2)固定販売費差異	()	
	(3)固定一般管理費差異	()	()
8.	実績営業利益		()

【純額分析】

		営業利益差異分析表	(単位：円)
1.	予算営業利益		()
2.	標準貢献利益差異		
	(1)販売価格差異	()	
	(2)販売数量差異	()	()
3.	標準変動費差異		
	(1)材料価格差異	()	
	(2)材料消費数量差異	()	
	(3)労働賃率差異	()	
	(4)労働時間差異	()	
	(5)変動製造間接費予算差異	()	
	(6)変動製造間接費能率差異	()	
	(7)変動販売費予算差異	()	()
4.	固定費差異		
	(1)固定製造間接費差異	()	
	(2)固定販売費差異	()	
	(3)固定一般管理費差異	()	()
5.	実績営業利益		()

活動区分別の営業利益差異分析

営業利益差異分析表

(単位：円)

1. 予算営業利益		704,000
2. 標準貢献利益差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	()
3. 標準変動費差異		
(1)材料価格差異	()	
(2)材料消費数量差異	()	
(3)労働賃率差異	()	
(4)労働時間差異	()	
(5)変動製造間接費予算差異	()	
(6)変動製造間接費能率差異	()	
(7)変動販売費予算差異	()	()
4. 固定費差異		
(1)固定製造間接費差異	()	
(2)固定販売費差異	()	
(3)固定一般管理費差異	()	()
5. 実績営業利益		688,200

活動区分別差異分析表

(単位：円)

1. 予算営業利益		704,000
2. 販売部門差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	
(3)変動販売費予算差異	()	
(4)固定販売費差異	()	()
3. 製造部門差異		
(1)材料価格差異	()	
(2)材料消費数量差異	()	
(3)労働賃率差異	()	
(4)労働時間差異	()	
(5)変動製造間接費予算差異	()	
(6)変動製造間接費能率差異	()	
(7)固定製造間接費差異	()	()
4. 一般管理部門差異		
(1)固定一般管理費差異		()
5. 実績営業利益		688,200

経営資本営業利益率差異分析

問1

営業利益差異分析表		(単位：円)
1. 20X1年度営業利益		()
2. 貢献利益差異		
(1)販売価格差異	()	
(2)販売数量差異	()	
(3)変動費差異	()	()
3. 固定費差異		
(1)固定製造間接費差異	()	
(2)固定販管費差異	()	()
4. 20X2年度営業利益		()

問2

	20X1年度	20X2年度
売上高営業利益率	() %	() %
経営資本回転率	() 回	() 回
経営資本営業利益率	() %	() %

問3

1. 20X1年度経営資本営業利益率	() %
2. 売上高営業利益率差異	() %
3. 経営資本回転率差異	() %
4. 20X2年度経営資本営業利益率	() %

問4

経営資本営業利益率差異分析表によると、20X1年度と比較し20X2年度の(収益性・安全性・成長性・生産性)が、(悪化・改善)していることがわかる。これは、製品の販売による利幅が(悪化・改善)した一方、経営資本の利用度が大きく(悪化・改善)したためである。

なお、企業は [] 活動によって集めた資金を、[] 活動→[] 活動→[] 活動と投入していき、最終的に売上高によって回収している。経営資本回転率は、1年間にこのサイクルを何回転させたかを表している。

問題

07

市場占拠率差異と市場総需要量差異

解答・解説 P.6-20

問1.

販売価格差異	円()
販売数量差異	円()

問2.

販売価格差異	円()
販売数量差異	円()

問3.

予算市場占拠率	%
実績市場占拠率	%

問4.

市場占拠率差異	円()
市場総需要量差異	円()

問題

08

セールスマックス差異と総販売数量差異

解答・解説 P.6-21

販売価格差異	円()		
販売数量差異	円()	セールスマックス差異	円()
		総販売数量差異	円()
変動費差異	円()		

問題

09

会話文問題Ⅰ

解答・解説 P.6-24

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮	

会話文問題2

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭			

Chapter 07 業務的意思決定

Section 04 業務的意思決定の計算例

問題 01 特別注文引受可否1

解答・解説 P.7-01

問1.

新規注文を引き受けた場合、営業利益が 千円(増加・減少)する。
したがって、新規注文を(引き受ける・引き受けない)ほうが有利である。

【注意】不要な語句を二重線で消しなさい。

問2.

新規注文を引き受けた場合、営業利益が 千円(増加・減少)する。
したがって、新規注文を(引き受ける・引き受けない)ほうが有利である。

【注意】不要な語句を二重線で消しなさい。

問3.

最低 円を超える値上げを打診する必要がある。

問題 02 特別注文引受可否2

解答・解説 P.7-03

X社の注文を引き受けた方が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{差額利益} \\ \text{差額損失} \end{array} \right\}$ が出るので、
注文を引き受けるべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問題

03

内製か購入か意思決定 I

解答・解説 P.7-05

問 1.

部品 Y を (内製する・購入する) ほうが、原価が 千円低く有利である。

【注意】不要な語句を二重線で消しなさい。

問 2.

部品 Y の年間必要量が 個以上ならば、部品 Y を内製するほうが有利である。

問 3.

部品 Y を (内製する・購入する) ほうが、原価が 千円低く有利である。

【注意】不要な語句を二重線で消しなさい。

問題

04

内製か購入か意思決定 2

解答・解説 P.7-07

問 1.

翌期の生産量が 台より $\left\{ \begin{array}{l} \text{多ければ} \\ \text{少なければ} \end{array} \right\}$ 内製すべきである。

【注意】正しい方を○で囲むこと。

問 2.

翌期の生産量が 台より $\left\{ \begin{array}{l} \text{多ければ} \\ \text{少なければ} \end{array} \right\}$ 内製すべきである。

【注意】正しい方を○で囲むこと。

問題

05

追加加工の意思決定

解答・解説 P.7-09

製品 X を追加加工し、製品 P として生産・販売する方が 円の

$\left\{ \begin{array}{l} \text{差額利益} \\ \text{差額損失} \end{array} \right\}$ となるので、追加加工すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

Chapter 08 設備投資意思決定

Section 01 設備投資意思決定の概要

問題 01 設備投資意思決定の基本

解答・解説 P.8-01

ア		イ		ウ		エ	
オ		カ		キ			

Section 02 貨幣の時間価値

問題 02 貨幣の時間価値と投資

解答・解説 P.8-01

問1.

円

問2.

円

問3.

ア		イ	
ウ		エ	

問題 03 現価係数と年金現価係数 I

解答・解説 P.8-02

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

問題

04

現価係数と年金現価係数2

解答・解説 P.8-02

問1.

 円

問2.

問3.

 円

問4.

 円

問5.

 万円

Section

03

キャッシュ・フロー予測とタックス・シールド

問題

05

キャッシュ・フロー予測1(新規投資・税金を考慮しない場合)

解答・解説 P.8-03

問1. 投資時点 年々 投資終了時

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------	-------------------------

問2. 現時点 1年度 2年度 3年度 4年度

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

問題

06

キャッシュ・フロー予測2(新規投資・税金を考慮する場合)

解答・解説 P.8-04

問1. 投資時点 年々 投資終了時

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------	-------------------------

問2. 現時点 1年度 2年度 3年度 4年度

<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円	<input type="text"/> 万円
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

問題

07

キャッシュ・フロー予測3(拡張投資・税金を考慮する場合)

解答・解説 P.8-04

投資時点	年々	投資終了時
万円	万円	万円

問題

08

キャッシュ・フロー予測4(取替投資・税金を考慮する場合)

解答・解説 P.8-05

投資時点	年々	投資終了時
万円	万円	万円

問題

09

キャッシュ・フロー予測5(損益計算書からの計算)

解答・解説 P.8-06

 円

Section

04 資本コスト

問題

10

加重平均資本コスト率

解答・解説 P.8-07

- (1) %
- (2) %

Section

05 投資案の評価方法

問題

11

正味現在価値法と収益性指数法I(税金を考慮しない場合)

解答・解説 P.8-08

問1.

正味現在価値 円

収益性指数

問2.

正味現在価値 円

収益性指数

問題

12

正味現在価値法と収益性指数法2(税金を考慮しない場合)

解答・解説 P.8-08

この投資案の正味現在価値は 円なので投資すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

この投資案の収益性指数は %なので投資すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問題

13

正味現在価値法と収益性指数法3(税金を考慮する場合)

解答・解説 P.8-09

問1.

正味現在価値が 万円であるから採用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

収益性指数が であるから採用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問2.

- ① 1年目 () 万円
 2年目 () 万円
 3年目 () 万円

② 正味現在価値が 万円であるから採用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

収益性指数が であるから採用すべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{ある} \\ \text{ない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問題

14

内部利益率法I

解答・解説 P.8-11

内部利益率 %

問題

15

内部利益率法2

解答・解説 P.8-12

問1.

内部利益率が()%なので採用 $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである} \\ \text{すべきでない} \end{array} \right\}$ 。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問2.

内部利益率はA案が()%、B案が()%、C案が()%なので()案を採用すべきである。

問題

16

単純回収期間法(収入額の平均値を用いる場合)

解答・解説 P.8-16

問1.

単純回収期間法 年

問2.

正味現在価値法 万円

問3.

内部利益率法 %

問題

17

単純回収期間法(収入額の累計値を用いる場合)と単純投下資本利益率法

解答・解説 P.8-17

総投下資本利益率 %

回収期間 年

問題

18

投資案の評価方法のまとめ

解答・解説 P.8-18

問1.	現時点	1年度	2年度	3年度	合計
	万円	万円	万円	万円	万円

問2.

 %

問3.

 年 月

問4.

 年 月

問5.

 %

問6.

 円

問7.

問題

19

推定問題

解答・解説 P.8-20

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	

問題

20

新規投資1

解答・解説 P.8-20

問1.

0年度(現時点)	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末
万円	万円	万円	万円	万円

問2.

0年度(現時点)	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末
万円	万円	万円	万円	万円

問3.

正味現在価値が()円なので採用すべきで(ある・ない)。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問4.

自動化オプションを取り付ける前の正味現在価値は()円であるのに対して、取り付けた後の正味現在価値は()円なので取り付けたうえで投資すべき(である・ではない)。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。

問題

21

新規投資2(優劣分岐点)

解答・解説 P.8-24

問1.

税金の支払いを考慮しない場合 万円

問2.

税金の支払いを考慮する場合 万円

問題

22

取替投資1

解答・解説 P.8-24

X案の正味現在価値は、 千円、Y案の正味現在価値は 千円である。したがって、 案の方が 案に比べて 千円有利なので、 案を採用すべきである。

問題

23

取替投資2

解答・解説 P.8-27

問1.

()万円

問2.

()万円

問3.

()万円

問題

24

取替投資3

解答・解説 P.8-30

最新鋭設備を導入する方が、正味現在価値が()円(高く・低く) (有利・不利)である。

【注意】不要な方を二重線で消しなさい。